

厚生労働省の科学技術研究の 成果目標について

平成18年1月18日

厚生労働省

成果目標の例

カテゴリー	対応する 重要な研究開発課題	研究開発目標・成果目標の例	関連する第3期科学技術 基本計画の政策目標
基本生命情報 から脳機能まで	ゲノム、RNA、タンパク質、 糖鎖等の構造機能とそれ らのネットワークの解明に もとづく生命現象の統合 的な理解	・2011年頃までに、薬剤反応性の原因となる 遺伝子変異等の探索・解析システムの実現例 を示す 等	・新しい原理・現象の発見・解明 ・非連続な技術革新の源泉とな る知識の創造 ・国民を悩ます病の克服
医療・医薬品	がん、アレルギー・免疫疾 患、生活習慣病、骨関節 疾患等の予防・診断・治療	・2014年頃までに「がん」の5年生存率を20% 改善」等の目標の達成に向けて、生活習慣病 予防や治療に資する科学技術の開発を推進す る 等	・新しい原理・現象の発見・解明 ・非連続な技術革新の源泉とな る知識の創造 ・国民を悩ます病の克服 ・誰もが元気に暮らせる社会の 実現
国民生活の質 の向上と安全・ 安心の確保	エイズ、肝炎を含む新興・ 再興感染症の予防・診断・ 治療	・2015年頃までに、国民の健康を脅かす新興・ 再興感染症について、診断方法の確立や治療 法の開発を行い、国民に対する適切な医療の 確保を行う 等	・国土と社会の安全確保 ・暮らしの安全確保
研究体制・制度	臨床研究(基礎研究から 臨床への橋渡し研究、治 験を含む)の体制整備	・2011年頃までに、臨床研究の実施拠点とな る医療機関の体制整備や人材育成を行うこと により、臨床研究基盤を整備する 等	・国民を悩ます病の克服
推進方策	食品の安全に関するリス クコミュニケーション手法 の開発に関する研究	・2010年頃までに食品の安全に関するリスクコ ミュニケーション手法を体系化する 等	・暮らしの安全確保